

1 【活動の趣旨】

目的：「もちつき」を通して地域の大人と子どもが協働して関わりあうことで、世代を超えた交流の場を提供する。

日時：1月19日（土）10：00～12：00

場所：志津南まちづくりセンター

参加人数：小学生 125名 協力者 67名

共催：志津南学区ふれあい推進委員会

協力：志津南小学校PTA、志津南学区青少年育成委員会、おやじの会、その他協力者の方々

2 【特徴的な活動内容】

もち米を蒸籠で蒸し、杵と臼でつき上げるという昔ながらの方法でついたもちを子どもたち自らが丸め、餡子、きなこ、砂糖醤油をつけて食べた。

また、協力者の方々が作った豚汁も美味しくいただきました。



3 【実施に当たっての工夫】

- ・参加人数が多い中、子どもたちが待ち時間に飽きることが無いよう、餅をついたり食べる順番をあらかじめ決め、当日はこれに従って実施した。
- ・協力者の皆さんには、前日からもち米等食材の準備や当日のもちつき準備等にご協力をいただき、円滑に進行することができた。
- ・今回はふれあい推進委員会との共催という形で実施した。ふれあい推進委員会には段ボール迷路と落書きコーナーを準備していただき、子どもたちにより楽しんでもらうことができた。

4 【事業の成果】

「もちつき」という作業を子どもたちと地域の協力者が、共同で行うことにより、世代を超えた交流の場を持つことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の実施に向けて】

- ・当初小学生130名を超える参加申し込みがあったが、インフルエンザ等で約10名の欠席者が出た。毎年のあるが開催時期の再検討が必要だと考える。
- ・ふれあい推進委員会の協力を得て事実上二つの事業を合同で開催したが、時間がやや短く、子どもたちはもっと楽しみたい様子であった。時間の延長を検討する。
- ・例年、参加人数が多い人気の行事であり、地域が一体化できる行事として今後も継続していきたい。